

DATA BOOK 2015

目次

- 01 At a Glance
- 03 連結財務ハイライト
- 05 連結貸借対照表
- 09 連結損益計算書
- 11 連結キャッシュ・フロー計算書
- 13 連結セグメント情報
- 15 事業データ
- 19 連結経営指標
- 21 事業別概況
- 29 投資家情報
- 30 会社情報

2015年3月期



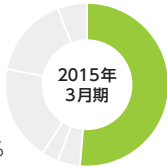
At a Glance

国内教育事業領域

主に幼児から高校生を対象とした通信教育講座「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」を提供しており、ベネッセグループの基幹事業となっています。

売上高構成比

51.6%



主な事業

- 通信教育講座「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」
- 大学入試模擬試験「進研模試」を中心とした学校向け教育事業
- 学習塾・予備校事業
- 幼児・小学生向け英語事業

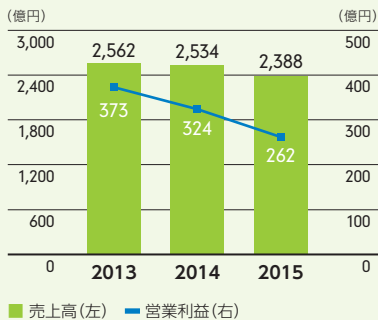
主なグループ会社

(株)ベネッセコーポレーション
(株)アップ
(株)東京個別指導学院
(株)お茶の水ゼミナール
(株)ミネルヴァインテリジェンス

主な取り扱い商品とサービス



売上高・営業利益(損失)

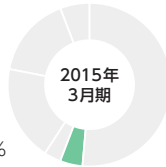


[3月31日に終了した会計年度]

海外教育事業領域

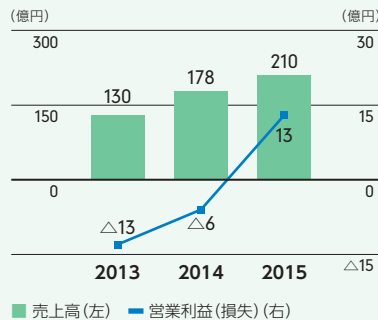
中国、台湾で幼児向けを中心とした通信教育事業を行っています。

4.5%



- 中国、台湾での幼児向けを中心とした通信教育事業

(株)ベネッセコーポレーション
倍楽生商貿(中国)有限公司

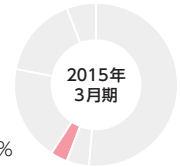


[3月31日に終了した会計年度]

生活事業領域

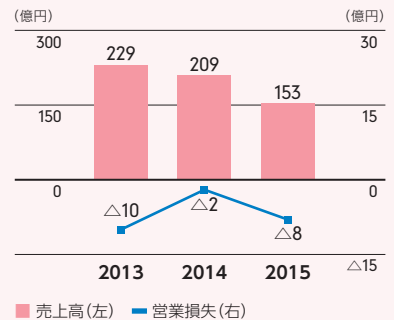
主に妊娠・出産・育児を支援する商品・サービスを提供しており、雑誌の出版や通信販売、Webサイトの運営などを行っています。

3.3%



- 妊娠・出産・育児雑誌「たまごクラブ」「ひよこクラブ」
- 女性向けWebサイト「ウィメンズパーク」
- 通信販売事業「たまひよSHOP」「たまひよの内祝」
- 写真スタジオ「たまひよの写真スタジオ」

(株)ベネッセコーポレーション

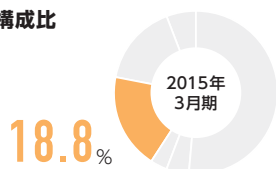


[3月31日に終了した会計年度]

シニア・介護事業領域

主に入居介護サービス事業を行っています。首都圏を中心に276の高齢者向けホーム及び住宅を運営しています(2015年3月末)。

売上高構成比



主な事業

- 入居介護サービス事業
(高齢者向けホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の運営)
- 在宅介護サービス事業
- 保育園・学童運営事業
- 高齢者向け配食サービス事業

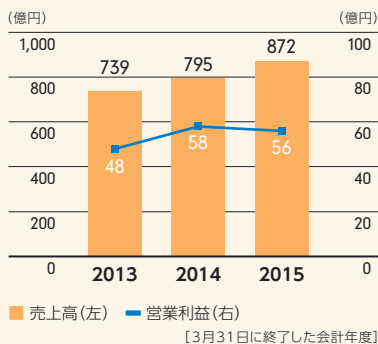
主なグループ会社

(株)ベネッセスタイルケア
(株)ベネッセMCM
(株)ベネッセパレット
(株)ベネッセシニアサポート

主な取り扱い商品とサービス

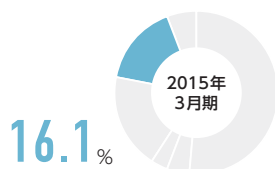


売上高・営業利益



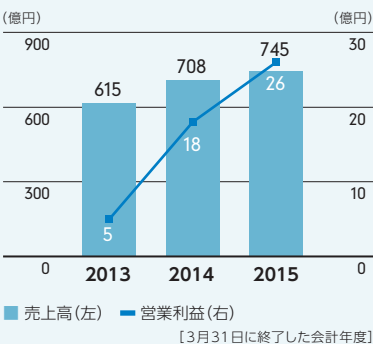
語学・グローバル人材教育事業領域

主にベルリッツ コーポレーションが世界70以上の国と地域で、語学教育事業、グローバル人材教育事業、ELS事業(留学支援事業)を展開しています。



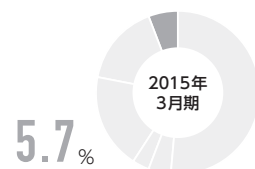
- 語学教育事業、グローバル人材教育事業、ELS事業
- 通訳、翻訳事業

ベルリッツ コーポレーション*
(株)サイマル・インターナショナル



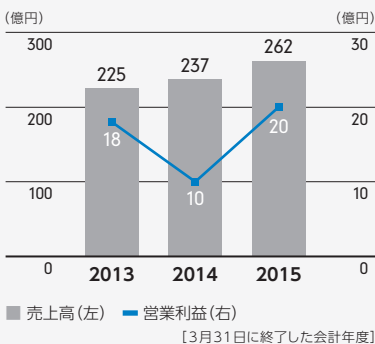
その他

テレマーケティング事業、情報システムの保守、運用事業及び情報処理サービス事業などを行っています。



- テレマーケティング事業
- 情報システムの保守、運用事業及び情報処理サービス事業

(株)TMJ
(株)ベネッセインフォシエル
※(株)ベネッセインフォシエルは、2015年1月15日に設立、2015年4月1日より事業を開始しました。



* ベルリッツ コーポレーションは、日本における子会社であるベルリッツ・ジャパン(株)をはじめ世界各国で子会社を通じて語学教育事業などを展開していますが、すべての子会社はベルリッツ コーポレーションに連結されており、ベルリッツ コーポレーション グループを1社としています。

連結財務ハイライト

3月31日に終了した会計年度

会計年度:

	2006	2007	2008
売上高	¥ 333,766	¥ 354,595	¥ 384,514
売上原価	165,346	175,218	192,182
販売費及び一般管理費	140,007	148,060	157,449
営業利益	28,412	31,316	34,882
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	27,746	32,339	31,006
法人税等合計	11,637	13,902	15,025
当期純利益又は当期純損失 (△)	16,039	18,244	15,462
CAPEX	¥ 20,503	¥ 11,801	¥ 22,767
減価償却費及びのれんの償却額	9,774	9,928	11,829

1株当たり情報:

当期純利益又は当期純損失 (△)	¥ 156.45	¥ 177.86	¥ 151.54
配当金	75	85	90

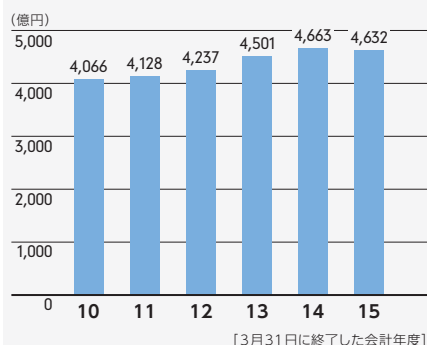
会計年度末:

総資産額	¥ 330,229	¥ 349,098	¥ 366,584
純資産額	186,292	197,302	202,342

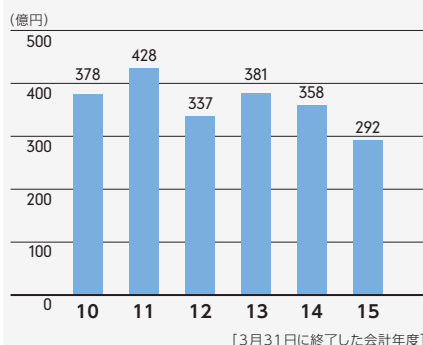
1株当たり純資産額	¥1,817.55	¥1,917.64	¥1,949.30
発行済株式総数 (千株)	106,353	106,353	106,353

- (注) 1. 「売上原価」は、P.9～10の「売上原価」から「返品調整引当金戻入額」を減じ、「返品調整引当金繰入額」を加えています。
 2. 「1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)」は、期中平均株式数に基づき算出しています。
 3. 2008年3月期以前の「CAPEX」には、差入保証金が含まれています。
 4. 2008年3月期以前の「減価償却費及びのれんの償却額」には、営業外費用の減価償却費が含まれています。

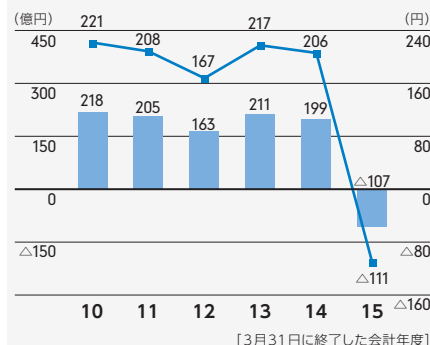
売上高



営業利益



当期純利益又は当期純損失 (△) / 1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)



- 当期純利益又は当期純損失 (△) (左)
 — 1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△) (右)

(百万円)

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
¥ 412,711	¥ 406,602	¥ 412,828	¥ 423,706	¥ 450,182	¥ 466,399	¥ 463,264
204,115	199,835	203,842	212,016	228,890	243,197	258,747
169,469	168,877	166,118	177,892	183,146	187,371	175,290
39,125	37,889	42,867	33,797	38,145	35,830	29,227
29,983	38,615	36,669	34,055	38,245	32,908	△3,475
18,652	15,911	15,606	17,109	16,614	12,536	6,474
10,678	21,874	20,586	16,369	21,147	19,930	△10,705
¥ 18,051	¥ 27,042	¥ 21,938	¥ 44,610	¥ 23,796	¥ 31,915	¥ 37,998
13,456	13,028	13,738	14,183	16,957	17,367	21,056

(円)

¥ 106.98	¥ 221.65	¥ 208.47	¥ 167.79	¥ 217.54	¥ 206.79	¥△111.30
90	90	95	95	95	95	95

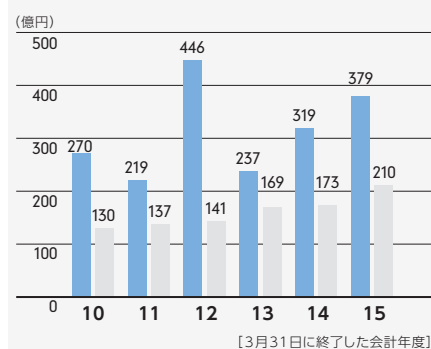
(百万円)

¥ 343,128	¥ 356,153	¥ 405,119	¥ 432,080	¥ 460,259	¥ 487,594	¥ 490,954
168,497	183,169	192,793	194,189	207,479	215,109	197,892

(円)

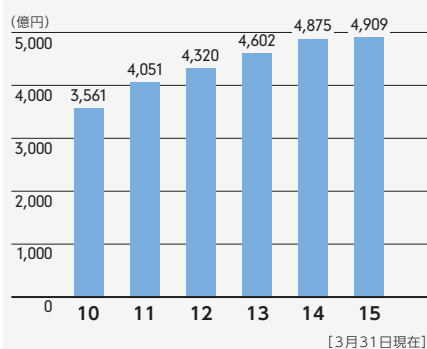
¥1,646.83	¥1,792.80	¥1,893.72	¥1,933.52	¥2,071.24	¥2,173.58	¥2,000.43
106,353	106,353	106,353	104,153	102,453	102,453	102,453

CAPEX／減価償却費及びのれんの償却額

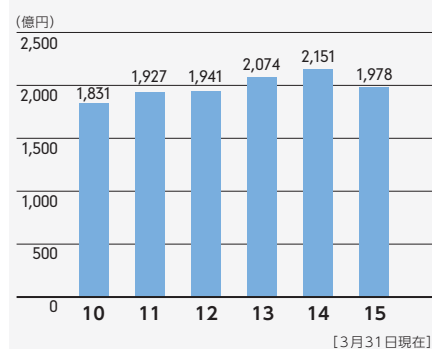


■ CAPEX
■ 減価償却費及びのれんの償却額

総資産額



純資産額



連結貸借対照表

3月31日現在

資産の部

流動資産

	2006	2007	2008
流動資産	¥150,884	¥173,566	¥175,899
現金及び預金	35,843	40,293	50,414
受取手形及び売掛金	22,685	23,900	28,298
有価証券	43,465	44,366	38,296
たな卸資産	15,146	15,551	17,043
商品及び製品	—	—	—
仕掛品	—	—	—
原材料及び貯蔵品	—	—	—
繰延税金資産	4,801	5,137	4,794
未収入金	17,011	27,811	31,972
その他	13,703	18,452	6,923
貸倒引当金	△1,773	△1,946	△1,843

固定資産

固定資産	179,345	175,532	190,684
有形固定資産	71,146	71,811	72,606
建物及び構築物(純額)	27,454	28,759	28,598
土地	34,290	34,710	35,046
リース資産(純額)	—	—	—
その他(純額)	9,401	8,341	8,961
無形固定資産	53,504	53,767	59,066
営業権	40,982	—	—
連結調整勘定	2,751	—	—
のれん	—	41,836	44,848
ソフトウェア	—	—	—
その他	9,770	11,931	14,217
投資その他の資産	54,693	49,953	59,011
投資有価証券	35,210	28,568	33,057
長期貸付金	—	—	—
前払年金費用	3,683	4,012	4,340
退職給付に係る資産	—	—	—
繰延税金資産	527	1,235	2,333
その他	16,090	16,513	19,508
貸倒引当金	△105	△376	△227
投資損失引当金	△712	—	—

資産合計

資産合計	¥330,229	¥349,098	¥366,584
-------------	-----------------	-----------------	-----------------

- (注) 1. 「流動資産」の「たな卸資産」に含めて表示していた「商品及び製品」「仕掛品」「原材料及び貯蔵品」は、2009年3月期から区分掲記しています。
 2. 「有形固定資産」の「その他」に含めて表示していた「リース資産」は、総資産額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。
 3. 「無形固定資産」の「営業権」及び「連結調整勘定」は、2007年3月期から「のれん」として表示しています。
 4. 「無形固定資産」の「その他」に含めて表示していた「ソフトウェア」は、総資産額の100分の5を超えたため、2010年3月期から区分掲記しています。
 5. 「投資その他の資産」の「その他」に含めて表示していた「長期貸付金」は、総資産額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。

(百万円)

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
¥179,850	¥179,687	¥233,544	¥230,014	¥248,663	¥262,779	¥251,278
42,784	48,877	93,982	72,647	72,464	79,726	104,541
24,400	24,218	26,185	27,371	30,108	31,266	31,671
43,517	31,631	32,053	49,128	57,491	51,279	24,313
—	—	—	—	—	—	—
14,112	13,969	14,334	16,900	21,105	31,750	25,873
3,685	3,334	4,255	4,098	3,911	4,611	3,737
1,780	1,707	1,693	1,634	1,807	1,643	1,595
5,758	5,230	6,262	5,482	6,185	5,658	6,034
38,318	42,032	41,863	46,684	46,510	48,547	41,479
7,281	10,426	14,450	7,781	10,767	10,044	13,775
△1,788	△1,740	△1,536	△1,715	△1,686	△1,750	△1,744
163,278	176,466	171,575	202,066	211,595	224,815	239,676
74,609	75,994	75,122	91,105	97,765	107,440	121,996
29,223	29,016	28,223	31,675	31,166	31,527	31,819
36,092	36,106	35,985	38,126	37,326	38,319	37,195
—	—	2,133	12,597	19,893	28,008	43,317
9,293	10,871	8,780	8,705	9,378	9,584	9,664
29,895	42,500	43,535	55,330	54,970	58,031	58,355
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
13,157	18,537	15,620	23,452	20,233	19,325	18,526
—	22,405	26,545	27,639	30,642	35,098	36,576
16,737	1,557	1,369	4,238	4,094	3,607	3,252
58,773	57,970	52,917	55,630	58,859	59,343	59,324
29,374	25,101	16,756	16,497	19,072	18,040	13,771
—	—	4,536	4,837	4,780	4,490	4,896
4,461	4,442	4,383	4,236	3,816	—	—
—	—	—	—	—	1,376	2,457
4,391	3,260	6,099	6,848	7,347	9,969	10,073
20,818	25,259	21,226	23,279	23,907	25,526	28,188
△272	△93	△84	△69	△65	△60	△62
—	—	—	—	—	—	—
¥343,128	¥356,153	¥405,119	¥432,080	¥460,259	¥487,594	¥490,954

連結貸借対照表

3月31日現在

	2006	2007	2008
負債の部			
流動負債	¥121,106	¥130,524	¥140,276
支払手形及び買掛金	12,190	12,262	11,762
短期借入金	508	796	1,187
1年内返済予定の長期借入金	1,206	546	683
未払金	18,827	21,449	23,308
未払法人税等	5,778	9,232	7,667
前受金	69,215	71,097	77,861
添削料引当金	834	794	748
賞与引当金	4,149	4,921	5,892
役員賞与引当金	222	254	295
返品調整引当金	553	587	555
その他	7,618	8,582	10,313
固定負債	22,512	21,271	23,965
長期借入金	2,903	740	536
リース債務	—	—	—
受入居保証金	—	—	—
繰延税金負債	574	553	23
退職給付引当金	2,251	2,371	2,598
役員退職慰労引当金	1,459	1,467	1,563
退職給付に係る負債	—	—	—
その他	15,323	16,138	19,244
負債合計	143,618	151,796	164,242
少数株主持分	319	—	—
資本の部			
資本金	13,600	—	—
資本剰余金	29,358	—	—
利益剰余金	154,155	—	—
その他有価証券評価差額金	879	—	—
為替換算調整勘定	△1,714	—	—
自己株式	△9,985	—	—
資本合計	186,292	—	—
負債、少数株主持分及び資本合計	¥330,229	—	—
純資産の部			
株主資本	—	197,524	200,522
資本金	—	13,600	13,600
資本剰余金	—	29,358	29,358
利益剰余金	—	164,004	170,337
自己株式	—	△9,439	△12,773
その他の包括利益累計額	—	△566	△1,999
その他有価証券評価差額金	—	786	△473
為替換算調整勘定	—	△1,352	△1,526
在外連結子会社年金債務調整額	—	—	—
退職給付に係る調整累計額	—	—	—
新株予約権	—	82	304
少数株主持分	—	261	3,514
純資産合計	—	197,302	202,342
負債純資産合計	—	¥349,098	¥366,584

(注) 1. 「資本の部」は、連結財務諸表規則の改正により2007年3月期から「純資産の部」として表示しています。

2. 「固定負債」の「その他」に含めて表示していた「リース債務」は、負債及び純資産の合計額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。

3. 「固定負債」の「その他」に含めて表示していた「受入居保証金」は、負債及び純資産の合計額の100分の5を超えたため、2010年3月期から区分掲記しています。

(百万円)

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
¥147,825	¥139,389	¥149,289	¥153,001	¥157,291	¥172,943	¥187,296
12,398	12,025	13,114	14,198	14,721	18,037	19,937
1,628	1,447	467	270	—	—	—
281	122	44	259	250	6,250	25,033
24,655	24,483	24,314	26,003	26,024	29,835	34,216
11,458	4,864	14,323	6,647	9,048	6,278	3,430
79,596	78,691	78,655	87,624	88,710	93,468	84,385
768	770	728	677	679	628	406
6,174	6,178	6,290	6,737	6,874	6,841	6,528
287	188	194	206	324	331	300
522	474	448	393	362	343	383
10,055	10,144	10,706	9,982	10,297	10,926	12,672
26,806	33,593	63,036	84,889	95,488	99,541	105,766
269	219	25,009	31,500	31,250	25,000	5,014
—	—	2,068	12,130	19,393	27,933	43,872
—	21,099	25,300	27,804	30,152	30,885	32,902
301	668	611	2,411	2,580	2,921	4,251
2,774	2,835	2,980	3,152	3,471	—	—
1,547	1,405	1,435	202	224	165	179
—	—	—	—	—	6,708	7,240
21,913	7,364	5,631	7,687	8,415	5,926	12,305
174,631	172,983	212,326	237,890	252,780	272,484	293,062
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
169,746	181,803	194,255	195,976	207,886	214,907	195,146
13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600
29,358	29,358	29,381	29,358	29,358	29,358	29,358
152,239	165,372	177,342	176,863	182,935	193,679	173,920
△25,451	△26,527	△26,067	△23,844	△18,007	△21,730	△21,732
△6,860	△4,967	△7,212	△8,014	△6,538	△5,830	△2,726
△1,634	88	△17	280	1,183	1,712	2,235
△5,226	△5,056	△6,793	△7,855	△7,172	△5,456	△3,468
—	—	△401	△440	△549	—	—
—	—	—	—	—	△2,086	△1,494
551	667	683	683	458	141	—
5,059	5,667	5,065	5,543	5,671	5,891	5,472
168,497	183,169	192,793	194,189	207,479	215,109	197,892
¥343,128	¥356,153	¥405,119	¥432,080	¥460,259	¥487,594	¥490,954

連結損益計算書

3月31日に終了した会計年度

	2006	2007	2008
売上高	¥333,766	¥354,595	¥384,514
売上原価	165,340	175,184	192,214
返品調整引当金戻入額	547	553	587
返品調整引当金繰入額	553	587	555
差引売上総利益	168,419	179,377	192,331
販売費及び一般管理費	140,007	148,060	157,449
販売促進費	—	—	—
ダイレクトメール費	27,309	27,157	27,345
広告宣伝費	14,835	13,819	13,474
運賃通信費	17,979	18,557	19,033
顧客管理費	11,951	10,892	9,939
給与及び手当	24,468	28,569	32,403
賞与引当金繰入額	2,216	2,739	3,195
役員賞与引当金繰入額	222	254	295
退職給付費用	—	—	—
退職給付引当金繰入額	642	622	719
役員退職慰労引当金繰入額	168	194	170
貸倒引当金繰入額	978	1,030	595
その他	39,235	44,223	50,275
営業利益	28,412	31,316	34,882
営業外収益	2,291	3,708	3,404
受取利息	388	753	1,340
受取配当金	58	70	171
有価証券売却益	41	—	—
固定資産賃貸料	428	448	451
為替差益	499	138	—
投資有価証券売却益	—	—	—
投資事業組合運用益	—	—	—
持分法による投資利益	67	78	81
匿名組合投資収益	300	1,581	—
デリバティブ運用収益	—	—	686
その他	506	636	672
営業外費用	1,275	1,745	2,366
支払利息	191	327	42
固定資産賃貸費用	192	175	169
為替差損	—	—	1,355
デリバティブ運用損失	360	389	—
その他	530	852	798
経常利益	29,429	33,279	35,920
特別利益	1,026	319	196
固定資産売却益	78	254	161
子会社株式売却益	—	—	—
国庫補助金	—	—	—
役員退職慰労金引当金戻入益	—	65	—
再雇用助成金	900	—	—
段階取得に係る差益	—	—	—
事業譲渡益	—	—	—
新株予約権戻入益	—	—	—
持分変動利益	—	—	—
その他	47	—	34
特別損失	2,709	1,260	5,109
固定資産除売却損	654	475	755
固定資産圧縮損	—	—	—
のれん償却額	—	—	—
減損損失	222	246	2,769
投資有価証券評価損	29	308	225
在外連結子会社リストラックチャリング費用	621	—	—
事業整理損	1,084	201	979
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	—	—
システム開発中止に伴う損失	—	—	284
訴訟関連損失	—	—	52
子会社整理損	—	—	—
事業構造改善費用	—	—	—
情報セキュリティ対策費	—	—	—
その他	97	28	42
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	27,746	32,339	31,006
法人税等合計	11,637	13,902	15,025
法人税、住民税及び事業税	11,697	14,830	15,425
法人税等調整額	△59	△927	△400
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	—	—	—
少数株主利益	69	192	519
当期純利益又は当期純損失(△)	¥ 16,039	¥ 18,244	¥ 15,462

(注) 1. 「営業外収益」の「その他」に含めて表示していた「投資事業組合運用益」は、営業外収益の合計額の100分の10を超えたため、2013年3月期から区分掲記しています。
2. 「販売費及び一般管理費」の「その他」に含めて表示していた「販売促進費」は、販売費及び一般管理費の合計額の100分の10を超えたため、2014年3月期から区分掲記しています。

(百万円)

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
¥412,711	¥406,602	¥412,828	¥423,706	¥450,182	¥466,399	¥ 463,264
204,148	199,883	203,868	212,071	228,921	243,217	258,707
555	522	474	448	393	362	343
522	474	448	393	362	343	383
208,595	206,766	208,986	211,690	221,292	223,201	204,517
169,469	168,877	166,118	177,892	183,146	187,371	175,290
—	—	—	—	—	18,045	20,852
28,495	30,340	28,268	31,887	31,575	29,269	10,794
14,741	13,207	11,344	12,015	12,418	13,729	18,594
20,280	20,757	20,654	20,698	20,070	19,374	15,830
11,245	12,007	11,247	12,580	14,350	15,784	18,876
34,380	34,126	33,164	34,825	36,412	38,200	37,842
3,512	3,676	3,479	3,591	3,602	3,545	3,282
287	200	196	206	321	329	295
—	—	—	—	—	—	2,056
877	844	1,134	1,203	1,454	1,910	—
166	133	115	65	77	79	42
751	706	691	830	729	947	843
54,729	52,876	55,823	59,988	62,132	46,154	45,978
39,125	37,889	42,867	33,797	38,145	35,830	29,227
3,219	2,367	3,012	1,917	3,451	2,481	1,794
1,372	681	515	423	441	440	472
197	173	124	52	77	85	110
—	—	—	—	—	—	—
456	431	452	485	476	486	505
—	646	—	—	1,670	94	—
—	—	513	119	115	191	—
—	—	—	—	71	535	125
81	96	527	243	179	164	49
—	—	—	—	—	—	—
749	—	423	—	—	—	—
361	337	455	593	419	483	531
3,069	1,091	1,176	1,017	2,601	3,095	4,182
58	64	86	290	868	1,418	2,426
177	164	160	251	237	223	212
2,002	—	536	131	—	—	279
—	517	—	32	1,159	1,067	503
830	344	393	311	336	385	762
39,276	39,165	44,703	34,698	38,995	35,216	26,838
2,848	1,294	223	550	273	1,998	327
9	1	8	—	48	98	115
2,737	1,152	117	—	—	1,537	—
—	114	—	—	—	45	70
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	357	—	—	—
100	—	80	193	—	—	—
—	—	—	—	224	317	141
—	2	—	—	—	—	—
1	23	17	—	—	—	—
12,141	1,843	8,256	1,192	1,023	4,306	30,642
601	491	1,002	1,009	34	44	13
—	114	—	—	—	44	70
7,619	—	—	—	—	—	—
587	33	6,401	79	842	3,190	221
2,154	17	20	97	38	2	49
—	—	—	—	—	357	1,129
150	1,105	—	—	102	—	792
—	—	614	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
277	—	—	—	—	—	—
—	—	205	—	—	107	—
420	—	—	—	—	550	2,315
—	—	—	—	—	—	26,039
330	81	13	6	6	7	10
29,983	38,615	36,669	34,055	38,245	32,908	△3,475
18,652	15,911	15,606	17,109	16,614	12,536	6,474
20,389	14,548	19,346	16,202	18,120	14,042	6,228
△1,736	1,363	△3,740	906	△1,505	△1,506	245
—	—	21,063	16,946	21,631	20,372	△9,950
652	829	476	577	483	442	755
¥ 10,678	¥ 21,874	¥ 20,586	¥ 16,369	¥ 21,147	¥ 19,930	¥△10,705

連結キャッシュ・フロー計算書

3月31日に終了した会計年度

	2006	2007	2008
営業活動によるキャッシュ・フロー	¥ 17,448	¥ 28,240	¥ 27,483
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	27,746	32,339	31,006
減価償却費	9,774	9,928	11,829
減損損失	222	246	2,769
のれん償却額	—	—	—
引当金の増減額(△は減少)	502	1,133	939
事業整理損	1,084	201	979
子会社株式売却損益(△は益)	—	—	—
事業構造改善費用	—	—	—
情報セキュリティ対策費	—	—	—
その他の損益(△は益)	△1,251	△1,898	△410
売上債権の増減額(△は増加)	△817	△1,000	△3,668
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,982	△485	△1,633
未収入金の増減額(△は増加)	△5,167	△5,336	△9,485
仕入債務の増減額(△は減少)	258	△591	△495
未払金の増減額(△は減少)	652	3,088	1,368
前受金の増減額(△は減少)	804	1,351	6,519
前払年金費用の増減額(△は増加)	△141	△328	△328
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	—	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	—	—
その他の資産、負債の増減額	418	924	4,064
小計	32,104	39,574	43,455
利息及び配当金の受取額	431	795	1,523
利息の支払額	△191	△380	△42
事業構造改善費用の支払額	—	—	—
情報セキュリティ対策費の支払額	—	—	—
法人税等の支払額	△14,896	△11,749	△17,453
法人税等の還付額	—	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,473	△11,223	△15,152
有価証券の取得による支出	△34,654	△20,706	△15,074
有価証券の売却による収入	36,355	28,055	24,939
有形固定資産の取得による支出	△6,227	△5,519	△5,727
有形固定資産の売却による収入	469	174	227
ソフトウェアの取得による支出	△4,280	△5,680	△6,547
投資有価証券の取得による支出	△25,044	△8,539	△14,688
投資有価証券の売却による収入	6,650	3,660	9,580
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	106	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	—	△10,259
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	△14	—	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	—	—
子会社株式の取得による支出	—	—	—
子会社株式の売却による収入	25	—	—
子会社株式(持分)の追加取得による支出	—	△128	—
営業譲受による収入	432	—	—
事業譲受による支出	—	—	—
事業譲渡による収入	—	—	—
吸収分割による支出	—	—	—
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,193	△6	△231
その他	△3,991	△2,638	2,629
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,609	△10,629	△13,825
短期借入金の純増減額(△は減少)	△781	△4	391
長期借入れによる収入	—	—	—
長期借入金の返済による支出	△1,307	△3,862	△828
配当金の支払額	△7,179	△8,201	△9,199
ストックオプション権利行使による収入	425	470	294
自己株式の取得による支出	△1,467	△8	△3,696
子会社の自己株式の取得による支出	—	—	△560
リース債務の返済による支出	—	—	—
その他	700	976	△224
現金及び現金同等物に係る換算差額	574	560	△94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23,059	6,948	△1,587
現金及び現金同等物の期首残高	89,477	66,417	73,365
現金及び現金同等物の期末残高	¥ 66,417	¥ 73,365	¥ 71,777

(注) 1.「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた「長期借入れによる収入」及び「リース債務の返済による支出」は、重要性が増したため、2011年3月期から区分掲記しています。

(百万円)

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
¥ 38,664	¥ 30,310	¥ 44,937	¥ 40,631	¥ 33,709	¥ 32,295	¥ 27,839
29,983	38,615	36,669	34,055	38,245	32,908	△3,475
13,600	13,156	13,865	14,396	17,152	17,548	21,225
587	33	6,401	79	842	3,190	221
7,619	—	—	—	—	—	—
751	△340	263	484	363	△3,952	△759
150	1,105	—	—	—	—	792
△2,737	△1,152	△117	—	—	△1,537	—
—	—	—	—	—	550	2,315
—	—	—	—	—	—	26,039
2,247	407	538	604	549	135	3,218
2,741	648	△2,348	△497	△1,990	456	257
△2,671	△158	△1,375	△2,338	△4,013	△11,497	6,005
△6,466	△3,315	△147	△4,963	205	△1,951	7,112
817	△598	1,211	974	220	2,724	1,891
263	△195	△1,406	4,591	△1,450	2,846	4,323
3,819	817	976	7,876	△313	3,080	△10,954
△120	18	59	146	420	3,816	—
—	—	—	—	—	△3,446	△819
—	—	—	—	—	5,772	△90
3,184	1,675	5,105	4,975	2,325	△1,400	7,830
53,770	50,717	59,695	60,385	52,558	49,246	65,133
1,593	907	684	536	535	545	631
△57	△64	△107	△297	△867	△1,421	△2,422
—	—	—	—	—	△46	△2,024
—	—	—	—	—	—	△21,366
△16,642	△21,250	△15,335	△25,876	△18,518	△19,310	△13,865
—	—	—	5,882	—	3,281	1,753
△5,217	△36,449	△14,632	△33,524	△23,012	△24,729	3,048
△66,034	△59,169	△73,627	△56,541	△74,464	△82,221	△24,758
73,881	55,177	70,435	59,952	72,078	80,031	56,447
△7,454	△5,350	△4,973	△5,610	△5,245	△8,434	△6,319
37	4	53	15	849	1,650	1,429
△6,083	△13,680	△11,768	△10,146	△8,802	△12,563	△12,296
△4,854	△2,965	△6,054	△6,363	△5,768	△3,997	△2,262
3,878	5,034	11,565	4,498	1,316	2,047	668
—	—	—	—	—	—	—
—	△5,725	—	—	—	△313	△1,179
—	—	—	—	—	—	—
—	△1,000	—	—	—	△477	—
—	—	—	△10,683	—	—	—
4,470	—	229	—	—	—	—
—	—	—	△4,006	—	△302	△1,092
—	—	—	—	—	—	—
△690	—	—	—	—	—	—
100	—	153	297	—	—	—
—	△1,681	—	—	—	—	—
911	△2,510	2,953	△1,918	△1,449	1,775	△3,457
△3,378	△4,581	△3,599	△3,018	△1,525	△1,923	△4,132
△23,261	△11,711	12,923	△11,254	△11,270	△14,514	△13,112
440	△722	△970	△197	△269	—	△786
—	—	25,019	5,000	—	—	5,071
△668	△280	△304	△44	△259	△250	△6,269
△9,065	△8,888	△9,125	△9,315	△9,234	△9,185	△9,137
408	337	499	—	—	—	—
△13,264	△1,514	△18	△5,339	△2	△3,723	△3
△668	△0	△1,117	△0	—	—	—
—	—	△799	△1,089	△1,262	△1,431	△1,723
△443	△642	△258	△267	△242	75	△262
△4,380	443	△1,712	△601	1,433	2,982	1,343
5,803	△17,406	41,516	△4,748	859	△3,966	19,119
71,777	77,581	60,174	101,691	96,942	97,802	93,835
¥ 77,581	¥ 60,174	¥ 101,691	¥ 96,942	¥ 97,802	¥ 93,835	¥ 112,955

2.「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の損益」及び「たな卸資産の増減額」に含めて表示していた「事業構造改善費用」及び「事業構造改善費用の支払額」は、重要性が増したため、2015年3月期から区分掲記しています。また、この表示方法を反映させるため、2014年3月期の数値を組み替えています。

連結セグメント情報

2011年3月期から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用することに伴い、セグメントを変更しました。2009年3月期、2010年3月期の数値は、新セグメントに合わせて組み替えたものです。

セグメント変更前

3月31日に終了した会計年度

	2006	2007	2008
売上高	¥333,766	¥354,595	¥384,514
教育事業グループ	198,664	208,833	221,742
Women & Family (ウィミン アンド ファミリー)カンパニー	20,833	23,450	25,635
Senior(シニア)カンパニー	27,402	32,053	37,130
語学カンパニー	51,535	59,164	67,817
アビバ事業	13,915	10,325	9,669
その他事業	21,414	20,768	22,518
営業利益(損失)	28,412	31,316	34,882
教育事業グループ	29,714	30,611	32,513
Women & Family (ウィミン アンド ファミリー)カンパニー	132	1,373	1,175
Senior(シニア)カンパニー	1,909	2,540	2,663
語学カンパニー	2,545	4,670	6,351
アビバ事業	△1,564	△1,182	△665
その他事業	1,349	429	△764
消去又は全社	△5,674	△7,125	△6,391

(注) 1. セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。
2. 2006年3月期から、Women & Family(ウィミン アンド ファミリー)カンパニーは、LTV(ライフタイムバリュー)カンパニーにセグメント名を変更しましたが、2009年3月期から、Women & Family(ウィミン アンド ファミリー)カンパニーにセグメント名を再変更しました。なお、2006年3月期から2008年3月期のLTV(ライフタイムバリュー)カンパニーの数値は、Women & Family(ウィミン アンド ファミリー)カンパニーに表示されています。

セグメント変更後

売上高

国内教育事業領域
海外教育事業領域
生活事業領域
シニア・介護事業領域
語学・グローバル人材教育事業領域
その他

営業利益(損失)

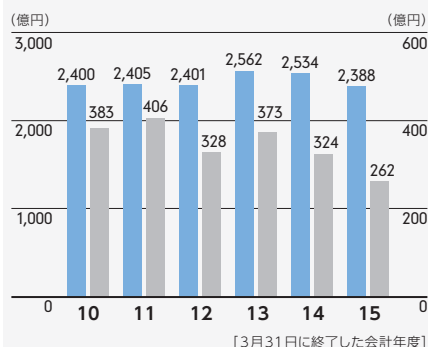
国内教育事業領域
海外教育事業領域
生活事業領域
シニア・介護事業領域
語学・グローバル人材教育事業領域
その他
調整額

(注) 1. セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。
2. 2015年3月期から、組織変更に伴い、セグメント区分の変更を行いました。2013年3月期及び2014年3月期の数値は、変更後の区分方法により作成しています。

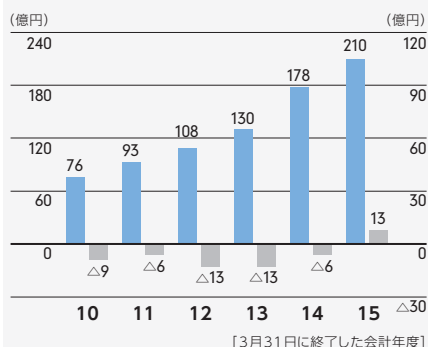
セグメント変更後

■ 売上高(左) ■ 営業利益(損失)(右)

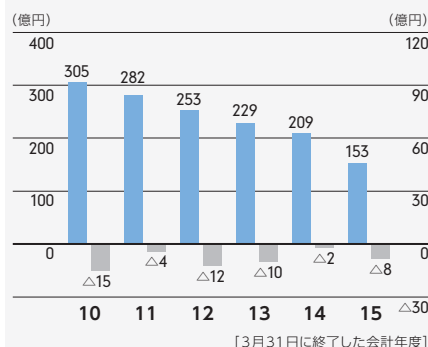
国内教育事業領域



海外教育事業領域



生活事業領域



(百万円)

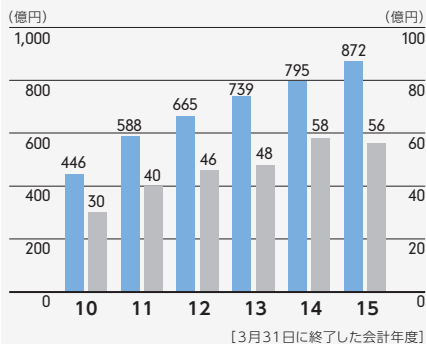
2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
¥412,711	¥406,602					
244,525	250,439					
26,408	27,423					
40,354	44,612					
68,394	53,879					
8,147	6,086					
24,881	24,160					
39,125	37,889					
40,011	43,548					
△778	△1,150					
2,635	3,009					
3,998	236					
246	293					
△309	522					
△6,678	△8,569					

3. 各セグメントの営業利益(損失)は、消去又は全社費用を控除する前の数値です。

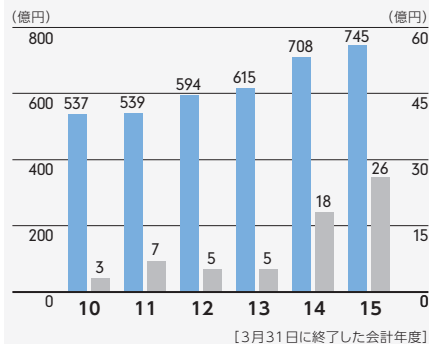
2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
¥412,711	¥406,602	¥412,828	¥423,706	¥450,182	¥466,399	¥463,264
234,304	240,011	240,576	240,178	256,246	253,499	238,815
6,855	7,670	9,394	10,830	13,041	17,818	21,006
29,531	30,587	28,260	25,337	22,925	20,938	15,324
40,354	44,612	58,897	66,539	73,907	79,598	87,271
68,353	53,794	53,989	59,427	61,547	70,830	74,570
33,311	29,926	21,709	21,392	22,515	23,713	26,276
39,125	37,889	42,867	33,797	38,145	35,830	29,227
37,115	38,380	40,619	32,857	37,316	32,489	26,202
△1,748	△983	△691	△1,343	△1,361	△698	1,367
△1,390	△1,524	△473	△1,277	△1,072	△232	△826
2,634	3,009	4,078	4,668	4,897	5,869	5,610
4,166	313	767	543	568	1,850	2,699
814	1,212	952	979	1,887	1,084	2,037
△2,465	△2,518	△2,385	△2,631	△4,090	△4,532	△7,863

3. 各セグメントの営業利益(損失)は、消去又は全社費用を控除する前の数値です。

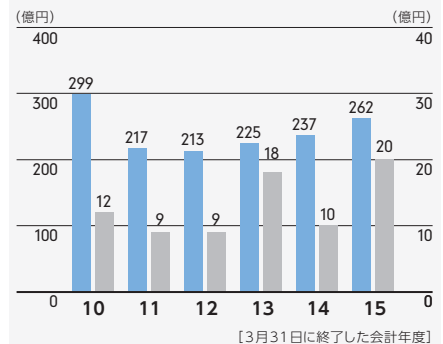
シニア・介護事業領域



語学・グローバル人材教育事業領域



その他



事業データ

	2006	2007	2008
「進研ゼミ」4月会員数(国内+海外)	4,260	4,180	4,300
国内会員数	4,050	3,910	3,960
高校講座	330	300	310
中学講座	800	750	750
小学講座	1,610	1,590	1,660
こどもちゃれんじ	1,310	1,270	1,240
海外会員数	210	270	340
中国			100
台湾			170
韓国			70

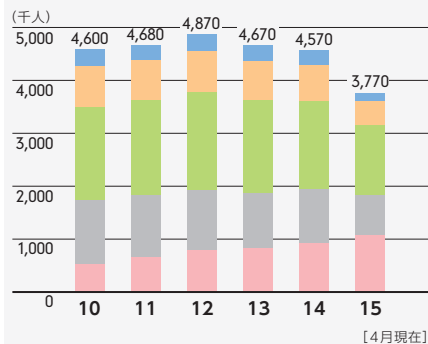
(注) 2014年4月以降の海外会員数には、ライセンス契約に基づく韓国での幼児向け通信教育講座の会員数を含みます。

3月31日に終了した会計年度	2006	2007	2008
「進研ゼミ」延べ在籍数(国内)	44,945	44,683	43,413
高校講座	3,232	3,289	3,060
中学講座	8,376	8,315	7,903
小学講座	17,623	17,862	17,733
こどもちゃれんじ	15,712	15,216	14,716

(注) 1. 延べ在籍数は、各年4月から3月までの月次在籍数の累計です。
 2. 2011年3月期から、「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数に「こどもちゃれんじbaby」の延べ在籍数を含んでおり、2010年3月期の数値も遡って修正しています。
 なお2010年3月期及び2011年3月期における「こどもちゃれんじbaby」の延べ在籍数はそれぞれ125万人、133万人です。

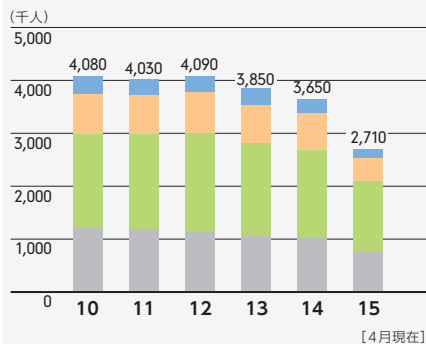
3月31日に終了した会計年度	2006	2007	2008
「進研模試」等延べ受験者数	6,050	6,180	6,360

「進研ゼミ」4月会員数(国内+海外)



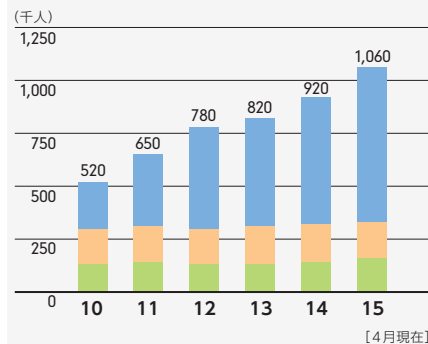
■ 高校講座 ■ 中学講座
 ■ 小学講座 ■ こどもちゃれんじ
 ■ 海外

「進研ゼミ」4月会員数(国内)



■ 高校講座 ■ 中学講座
 ■ 小学講座 ■ こどもちゃれんじ

「進研ゼミ」4月会員数(海外)



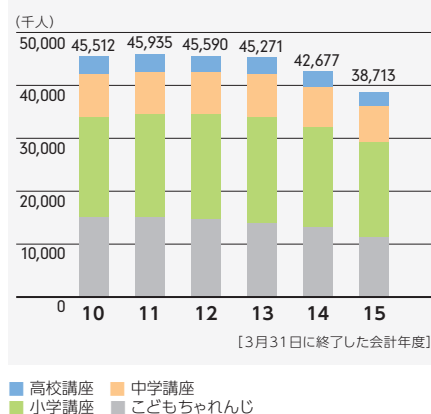
■ 中国 ■ 台湾
 ■ 韓国

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	(千人) 2015
	4,470	4,600	4,680	4,870	4,670	4,570	3,770
	4,040	4,080	4,030	4,090	3,850	3,650	2,710
	340	340	300	320	310	280	170
	770	760	740	780	730	690	450
	1,710	1,770	1,800	1,840	1,760	1,660	1,330
	1,220	1,210	1,180	1,150	1,050	1,020	760
	430	520	650	780	820	920	1,060
	150	220	340	480	510	600	730
	160	170	170	170	180	180	170
	120	130	140	130	130	140	160

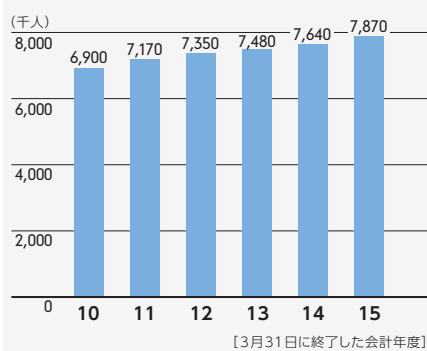
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	(千人) 2015
	43,900	45,512	45,935	45,590	45,271	42,677	38,713
	3,279	3,418	3,428	3,150	3,188	3,052	2,698
	7,967	8,113	7,923	7,925	8,058	7,583	6,838
	18,395	18,911	19,540	19,906	20,092	18,973	17,845
	14,257	15,068	15,042	14,608	13,931	13,067	11,330

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	(千人) 2015
	6,650	6,900	7,170	7,350	7,480	7,640	7,870

「進研ゼミ」延べ在籍数(国内)



「進研模試」等延べ受験者数



12月31日に終了した会計年度	2005	2006	2007
ベルリッツ語学レッスン数(直営)	6,519	6,872	7,145
北米	981	970	966
ラテンアメリカ	1,333	1,400	1,462
アメリカズ	—	—	—
ヨーロッパ	2,334	2,538	2,647
アジア	1,869	1,962	2,068

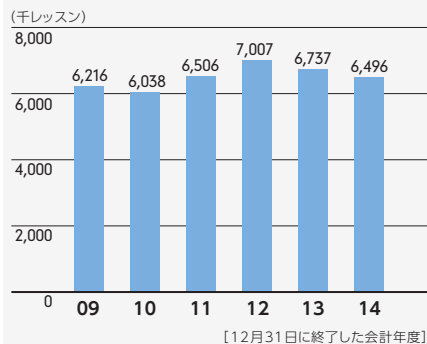
(注) 1. 2011年8月にBerlitz Corporationの子会社となったTelelangue SAにおいて、顧客との契約期間終了時に未受講分を一括して語学レッスン数に含めておりましたが、同社の語学レッスン数を集計する管理基盤が整ったことから、2014年12月期から、契約期間終了時の未受講レッスンを上記ヨーロッパ、及び合計の語学レッスン数から除いて表示しており、2013年12月期の数値も遡って修正しています。
 なお、2014年12月期、及び2013年12月期から除いた同社の語学レッスン数は、それぞれ63千レッスン、及び100千レッスンです。
 2. 2011年12月期から、「北米」と「ラテンアメリカ」を合わせて「アメリカズ」へ変更しています。

12月31日現在	2005	2006	2007
ベルリッツ拠点数(直営・フランチャイズ)	529	542	557
ベルリッツ(直営)	378	382	385
ベルリッツ(フランチャイズ)	76	84	92
ELS(直営)	41	42	46
ELS(フランチャイズ)	34	34	34

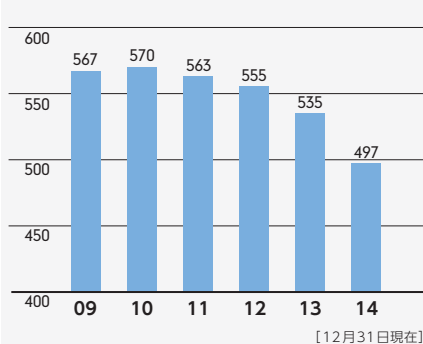
3月31日現在	2006	2007	2008
高齢者向けホーム及び住宅数	106	115	129
アリア	9	9	11
くらら	35	37	37
グラニー&グランダ	39	43	51
まどか	23	26	30
ボンセジュール	—	—	—
ここと	—	—	—
リレ	—	—	—
新施設設数	14	9	14
承継施設数	—	—	—
既存施設入居率			

(注) 1. 2012年4月1日付で、(株)ベネッセスタイルケアと(株)ボンセジュールは、(株)ベネッセスタイルケアを存続会社として合併しました。(株)ボンセジュールの決算日が2月末日であったため、2012年3月期以前の「ボンセジュール」「ここと」は、2月末日の数値を集計しています。
 2. 新施設設数には、統廃合による減少施設数を含めています。

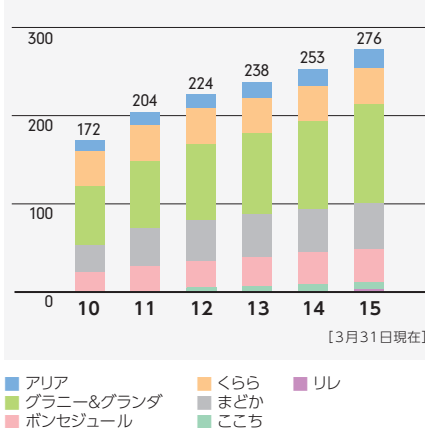
ベルリッツ語学レッスン数(直営)



ベルリッツ拠点数(直営・フランチャイズ)



高齢者向けホーム及び住宅数



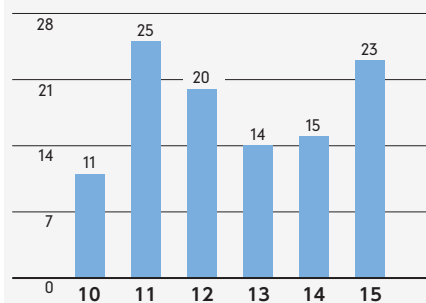
(千レッスン)

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
7,256	6,216	6,038	6,506	7,007	6,737	6,496
906	756	740	—	—	—	—
1,453	1,174	1,214	—	—	—	—
—	—	1,954	2,058	2,035	1,921	1,803
2,844	2,649	2,453	2,727	3,177	3,093	3,006
2,051	1,636	1,630	1,720	1,793	1,723	1,685

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
561	567	570	563	555	535	497
380	379	375	374	370	345	307
101	108	111	112	108	112	113
49	51	57	61	64	64	66
31	29	27	16	13	14	11

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
139	172	204	224	238	253	276
11	12	15	16	18	20	21
39	40	40	40	40	40	41
59	67	77	87	92	99	112
30	31	43	46	48	49	52
—	22	29	31	34	37	38
—	—	—	4	6	8	11
—	—	—	—	—	—	1
10	11	25	20	14	15	23
—	22	7	—	—	—	—
		95%	95%	94%	95%	94%

高齢者向け新施設設数



[3月31日現在]

連結経営指標

3月31日に終了した会計年度

収益性:

	2006	2007	2008
売上高営業利益率(%)	8.5	8.8	9.1
売上高当期純利益率(%)	4.8	5.1	4.0
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	8.9	9.5	7.8
総資産当期純利益率(ROA)(%)	5.0	5.4	4.3
従業員1人当たり営業利益(千円)	2,351	2,455	2,528
従業員1人当たり当期純利益(千円)	1,327	1,430	1,120
従業員数(名)	12,081	12,753	13,796

成長性:

売上高増減率(%)	14.5	6.2	8.4
営業利益増減率(%)	8.5	10.2	11.4
当期純利益増減率(%)	12.2	13.7	△15.2

安全性:

流動比率(%)	124.6	133.0	125.4
固定比率(%)	96.3	89.0	94.2
自己資本比率(%)	56.4	56.4	54.2
手元流動性(ヵ月)	3.4	3.1	2.9
有利子負債比率(%)	3.0	1.8	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	151.0	98.2	848.4

1株当たり情報:

当期純利益又は当期純損失(△)(円)	156.45	177.86	151.54
配当金(円)	75	85	90
配当性向(%)	47.9	47.8	59.4

(注) 1. 自己資本当期純利益率(ROE)及び総資産当期純利益率(ROA)は、期中平均自己資本及び期中平均総資産に基づき算出しています。

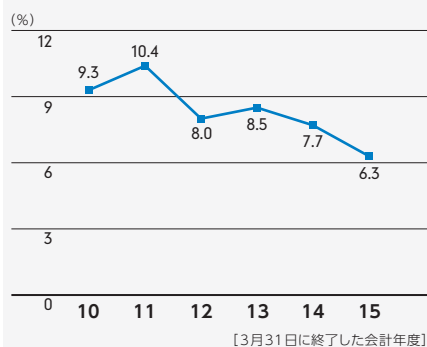
2. 手元流動性=(期中平均現金+期中平均有価証券)÷月平均売上高

3. 有利子負債比率=期中平均有利子負債残高÷期中平均自己資本×100

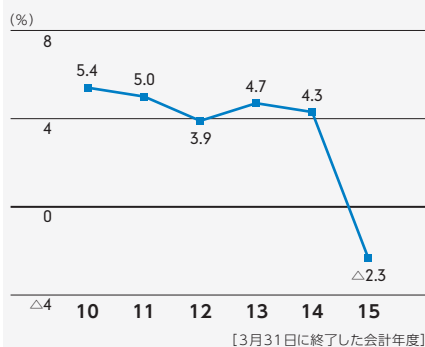
4. インタレスト・カバレッジ・レシオ=(営業利益+受取利息+受取配当金)÷支払利息

5. 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)は、期中平均株式数に基づき算出しています。

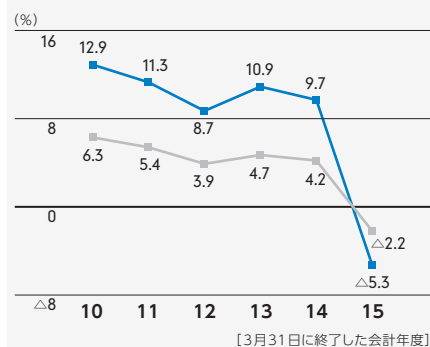
売上高営業利益率



売上高当期純利益率



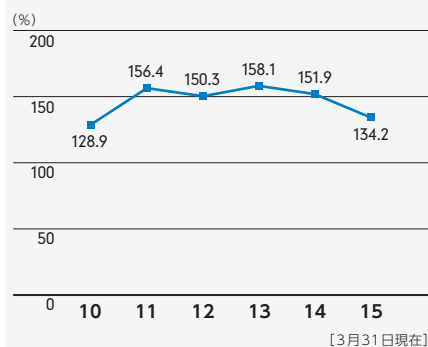
ROE/ROA



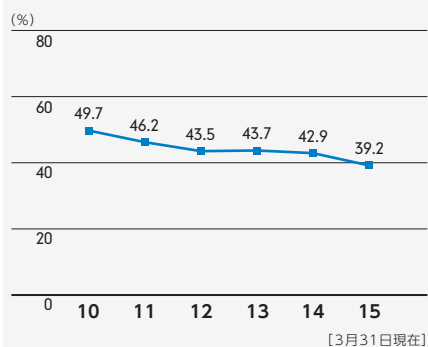
— ROE
— ROA

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
9.5	9.3	10.4	8.0	8.5	7.7	6.3
2.6	5.4	5.0	3.9	4.7	4.3	△2.3
5.9	12.9	11.3	8.7	10.9	9.7	△5.3
3.0	6.3	5.4	3.9	4.7	4.2	△2.2
2,656	2,467	2,538	1,784	1,932	1,791	1,450
725	1,424	1,219	864	1,071	996	△531
14,726	15,353	16,888	18,941	19,739	20,005	20,145
7.3	△1.5	1.5	2.6	6.2	3.6	△0.7
12.2	△3.2	13.1	△21.2	12.9	△6.1	△18.4
△30.9	104.8	△5.9	△20.5	29.2	△5.8	—
121.7	128.9	156.4	150.3	158.1	151.9	134.2
96.9	96.3	89.0	104.1	102.0	104.5	121.1
47.5	49.7	46.2	43.5	43.7	42.9	39.2
2.5	2.5	3.0	3.5	3.4	3.4	3.4
1.6	2.4	9.0	19.7	25.0	27.5	33.9
697.5	597.2	504.4	118.0	44.5	25.6	12.3
106.98	221.65	208.47	167.79	217.54	206.79	△111.30
90	90	95	95	95	95	95
84.1	40.6	45.6	56.6	43.7	45.9	—

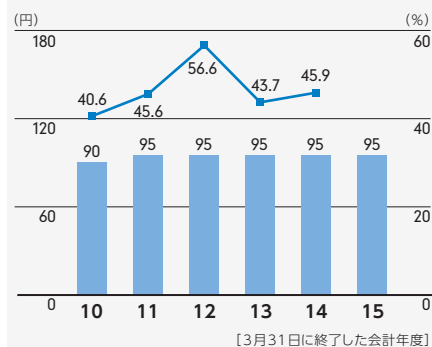
流動比率



自己資本比率



1株当たり配当金／配当性向



■ 1株当たり配当金(左)
— 配当性向(右)

国内教育事業領域

1. 事業概要

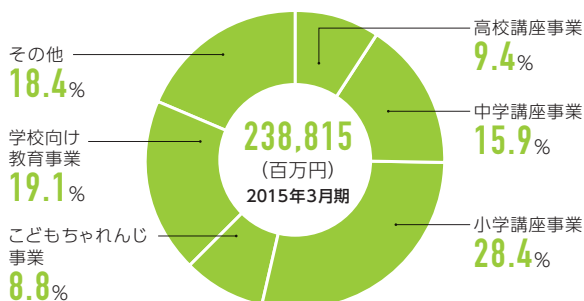
国内教育事業領域は、ベネッセグループ全体の売上高の51.6%を占める基幹事業です。主力商品である「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」は、幼児から高校生を対象とした通信教育講座で、対象人口の約14%が受講しています。紙の教材、タブレット端末をはじめとしたデジタル教材に、赤ペン先生などによる人のサポートを組み合わせ、個別対応力や双方向性を高めることで、多様化、個別化する顧客ニーズにきめ細かく対応できる商品・サービスの開発を進めています。このほかにも、高校を対象とした、大学入試模擬試験「進研模試」、学習・進路指導教材「スタディーサポート」などを提供しています。また、子どもたちの学習スタイルやニーズの多様化に対応し、学習塾、幼児・小学生向け英語教材、及び子ども向け英語教室など、さまざまな教育サービスを提供しています。

事業別売上高内訳
(百万円)

	2014年 3月期	2015年 3月期	増減	増減率 (%)
高校講座事業	25,773	22,565	△3,207	△12.4
中学講座事業	42,434	37,975	△4,458	△10.5
小学講座事業	72,005	67,768	△4,236	△5.9
こどもちゃれんじ事業	23,090	21,052	△2,037	△8.8
小計	163,304	149,363	△13,940	△8.5
学校向け教育事業	44,205	45,540	1,334	3.0
その他(学習塾など)	45,989	43,911	△2,077	△4.5
国内教育事業領域計	253,499	238,815	△14,683	△5.8

事業別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。

事業別売上高構成比



「進研ゼミ」

「進研ゼミ」は、ベネッセコーポレーションが提供する通信教育講座です。家庭学習用教材で、学校の授業の予習・復習や受験対策など、会員は各自の目的に合わせて教材を利用することができます。「進研ゼミ」の教材と添削問題は、月に一度、会員の手元へ郵送で届けられます*。会員は、送られてきた課題を期限内に終え、添削指導を行う赤ペン先生に提出します。「進研ゼミ」の強みの一つは、会員一人ひとりに個別対応している点です。会員は、学校で使用している教科書や自分の学習ペース、学習レベル、地域、あるいは志望校に合わせて学習することが可能です。

*2014年4月に開講した専用タブレット端末を中心に学習を進める「進研ゼミ 小学講座 チャレンジタッチ」は内容が異なります。

「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」

	2015年4月		2015年3月期
	会員数 (万人)	シェア* (%)	1人当たりの 月平均単価(円)
高校講座	17	4.7	8,364
中学講座	45	12.8	5,554
小学講座	133	20.4	3,798
こどもちゃれんじ	76	12.0	1,858
合計	271	13.6	3,858

*シェアは、対象人口に占める会員数の割合

「進研模試」

ベネッセコーポレーションでは、高校生を対象とした、大学入試模擬試験「進研模試」を提供しています。また、このほかにも、生徒が最良の進路を選択するための進路支援教材「スタディーサポート」などを提供しており、全国の高校と取引があります。

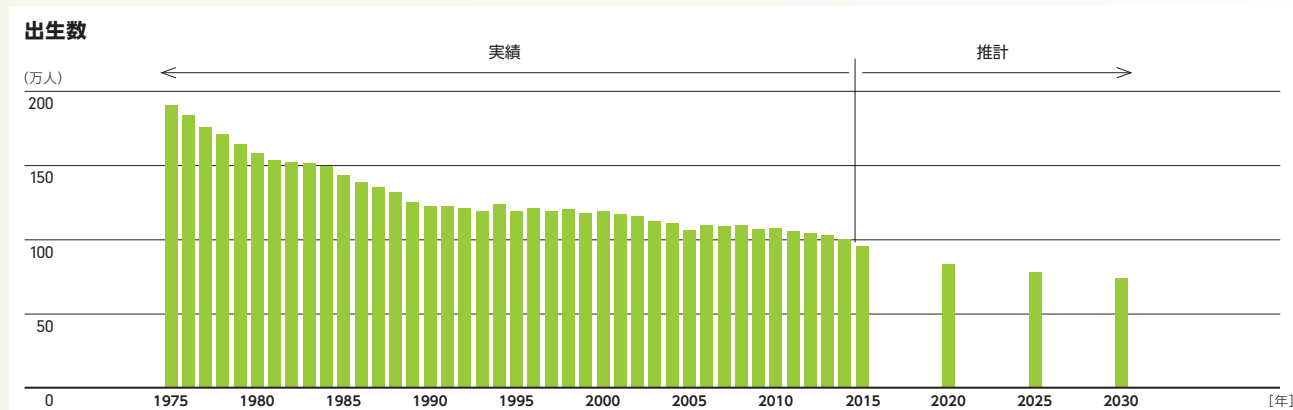
2. 市場の動向

国内の年間出生数は1975年に200万人を割り込んで以来、減少傾向にあり、2014年はピーク時の約半分の100万人(推計値)となりました。今後も少子化は進行し、年間出生数は年平均1%程度減少することが見込まれています。

少子化の一方、2013年度の校外学習市場は1兆5,009億円と2008年度並みの市場規模を維持しています。同市場の対象範囲には、学習塾・予備校や通信教育、

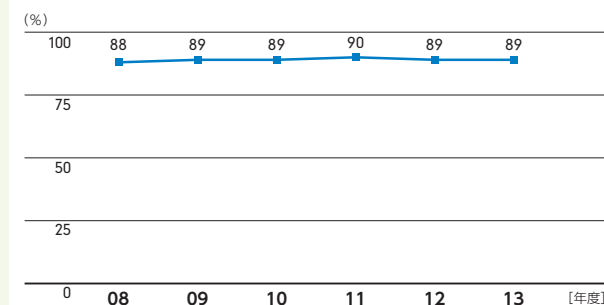
家庭教師派遣、学習参考書などの補助教材、及び幼児教育などが含まれます。

2013年度の通信教育(未就学児向け／小学生から高校生向け)の市場規模は1,828億円で、校外学習市場の12.2%を占めており、2008年度の1,899億円から3.7%減少しています。また、通信教育市場におけるベネッセのシェアは、2013年度に89%と高水準です。校外学習市場において62.4%を占める規模の大きな市場である学習塾・予備校の2013年度の市場規模は、2008年度比で微増となっています。



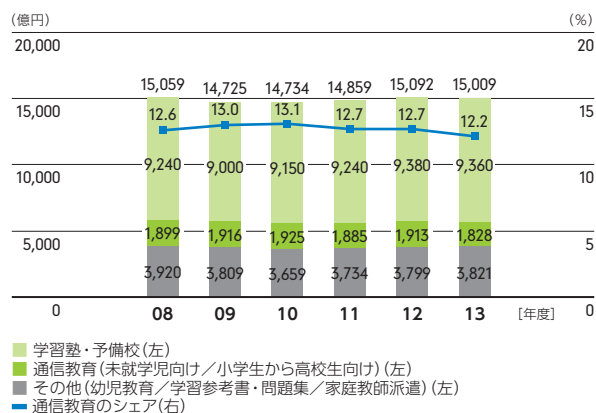
出所：2013年までは厚生労働省「人口動態統計」、2014年は厚生労働省「平成26年(2014)人口動態統計の年間推計」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」

通信教育市場におけるベネッセのシェアの推移



注：通信教育市場は、未就学児向け、及び小学生から高校生向けの合算値
出所：(株)矢野経済研究所「教育産業白書2014年版」をもとに当社算出、作成

校外学習市場の推移



出所：(株)矢野経済研究所「教育産業白書2014年版」をもとに当社算出、作成

3. 2015年3月期の業績概要

国内教育事業領域の連結売上高は、2,388億1千5百万円と、対前期比5.8%の減収となりました。減収の主な要因は、主力の通信教育講座「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数が、2014年7月に公表したお客様に関する情報が外部に漏えいした影響などにより、減少したことです。一方、学習塾事業は東京個別指導学院を中心に売上を伸ばし、学校向け教育事業も高校生を対象とした学習・進路指導教材を中心に好調に推移しました。営業利益は、学習塾事業及び学校向け教育事業の増収に伴

う増益などがあったものの、「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」の減収に伴う減益や、「進研ゼミ」の小学講座から高校講座のうち9学年でタブレット教材を導入したことによる費用の増加などにより、262億2百万円と、対前期比19.4%の減益となりました。

なお、2014年11月4日付で、子ども向け英語教室事業を行うミネルヴァインテリジェンスの発行済全株式を取得しました。

FAQ (よくあるご質問)

Q1.

「進研ゼミ」の4月会員数と延べ在籍数の違いは？

A1.

4月会員数は、「進研ゼミ」の4月号教材を受け取った会員数で、延べ在籍数は、4月から翌年3月までの間に「進研ゼミ」の教材を受け取った会員数の累計です。

Q2.

「進研ゼミ」の高校講座の会員数が中学講座に比べて大幅に減少するのはなぜ？

A2.

現在、日本における高校への進学率は約98%ですが、そのうち大学や短大に進学する生徒はほぼ半数(約54%)です。このため、大学受験に備えて「進研ゼミ」を受講する高校生の数も、高校受験をする中学生に比べて、大幅に減少します。

Q3.

「進研ゼミ小学講座 チャレンジタッチ」の会員数は？

A3.

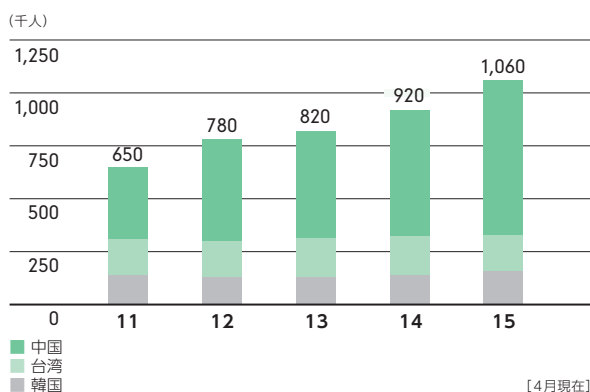
2015年4月時点で、「進研ゼミ小学講座」の会員の37%に相当する49万人が「進研ゼミ小学講座 チャレンジタッチ」で専用タブレット端末を使用して学習しています。

海外教育事業領域

1. 事業概要

海外教育事業領域は、ベネッセグループ全体の売上高の4.5%を占めています。現在、中国、台湾で幼児向けを中心とした通信教育事業を行っており、順調に会員数を伸ばしています。2015年4月時点の海外通信教育講座の会員数は、中国73万人、台湾17万人、韓国16万人(ライセンス契約)で、合計106万人です。

海外4月会員数



*2014年4月以降の海外会員数にはライセンス契約に基づく韓国での幼児向け通信教育講座の会員数を含みます。

2. 市場の動向

中国の2013年の出生数*は1,640万人と、日本の同年の出生数(102万人)の16倍という巨大な市場です。また、2013年には人口抑制のために導入していた「一人っ子政策」の緩和を決め、2014年から、夫婦のどちらかが一人っ子の場合、第2子の出産を認めることとなりました。この決定により中国の年間出生数は、100万人程度増加するとみられています。

*出所：総務省統計局「世界の統計2015」

3. 2015年3月期の業績概況

海外教育事業領域の連結売上高は、210億6百万円と、対前期比17.9%の増収となりました。増収の主な要因は、中国で通信教育講座の延べ在籍数が増加したこと、及び円安による為替換算時のプラス影響です。一方で、韓国で通信教育事業を行っていた Benesse Korea Co., Ltd.の全株式を Korea Yakult Co., Ltd.に譲渡したことに伴う減収がありました。営業利益は、増収に伴う増益などにより、13億6千7百万円と、前期の6億9千8百万円の営業損失から黒字転換しました。

FAQ (よくあるご質問)

*文中のベネッセはベネッセグループのことを表します。

Q1.

中国で展開している講座の対象年齢と単価は？

A1.

中国では、0歳から8歳(小学2年生)までを対象とした講座を展開しており、単価は約125円/月です。また、2015年4月時点における中国での会員数は、0歳から8歳までの合計で73万人です。

Q2.

中国での事業はベネッセ単独で展開？

A2.

ベネッセは、2006年度より、日本で展開する幼児向け通信教育講座「こどもちゃれんじ」の中国版にあたる「楽智小天地」の事業展開を行ってきました。「楽智小天地」は、現地パートナーである中国福利会傘下の中国福利会出版社にてライセンス出版をしています。

事業別概況

生活事業領域

1. 事業概要

生活事業領域は、ベネッセグループ全体の売上高の3.3%を占めています。女性の向上意欲や、女性とその家族の生活の支援を行うことを目指し、妊娠、出産、育児や家事など、暮らしのシーンにかかわるさまざまなサービスを提供しています。主な事業内容は、雑誌などの出版や通信販売、Webサイトの運営です。

2. 市場の動向

2014年の国内の雑誌市場*¹は前年比5.0%減の8,520億円と2014年4月に消費税が5%から8%に増税されたことを背景に、17年連続で前年を下回りました。

一方、2013年度(2013年4月～2014年3月)の国内通信販売市場*²は前年度比8.3%増の5兆8,600億円となりました。大手EC企業が牽引役となっていることやネット通販企業の裾野が拡大していることなどを背景に、他の小売業態に比べて高い成長率を維持し、15年連続で前年度を上回りました。

*1 出所：(公社)全国出版協会・出版科学研究所「2014年書籍・雑誌推定販売金額」

*2 出所：(公社)日本通信販売協会「2013年度通販市場売上高調査」

3. 2015年3月期の業績概況

生活事業領域の連結売上高は、153億2千4百万円と、対前期比26.8%の減収となりました。減収の主な要因は、2014年7月に公表したお客様に関する情報が外部に漏えいした影響などによる通信販売事業の減収、雑誌事業の減収、及びベネッセアンファミリーによる食材宅配事業の収束です。利益面では、減収に伴う減益などにより、営業損失が8億2千6百万円と、前期の2億3千2百万円から悪化しました。

FAQ (よくあるご質問)

Q1.

女性向けWebサイト「ウィメンズパーク」の特長は？

A1.

ベネッセコーポレーションが運営する日本最大級の女性限定会員制サイトで、2015年3月末の会員数は515万人です。妊娠・出産・育児の悩みや病院や幼稚園・保育園など転勤や引越しに便利な地域の口コミ情報、料理や家事のヒントが掲載されています。

Q2.

新規事業「たまひよの写真スタジオ」の特長は？

A2.

ベネッセコーポレーションが運営する写真館で、自然光を取り込んだ写真撮影や、撮影したデータをすべて当日にお渡しすることなどが特長です。現在、首都圏で3店舗を運営しています(2015年3月末時点)。

シニア・介護事業領域

1. 事業概要

シニア・介護事業領域は、ベネッセグループ全体の売上高の18.8%を占め、国内教育事業領域に次ぐ第二の基幹事業です。また、国内最多の有料老人ホームを展開しています。ベネッセスタイルケアで入居介護サービス事業（高齢者向けホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の運営）、在宅介護サービス事業、保育園・学童運営事業などを、ベネッセMCMで看護師及び介護職の人材紹介派遣事業を行っています。

高齢者向けホーム及びサービス付き高齢者向け住宅

ベネッセのホームでは、入居された高齢者の食事などの介護その他の日々の生活に必要な支援を行っており、介護保険の認可を受けている特定施設入居者生活介護を中心に運営しています。また、ベネッセでは、価格帯やサービス内容がそれぞれ異なる7つのシリーズを展開し、お客様の幅広いニーズに対応しています。

ベネッセの高齢者向けホーム及び住宅数

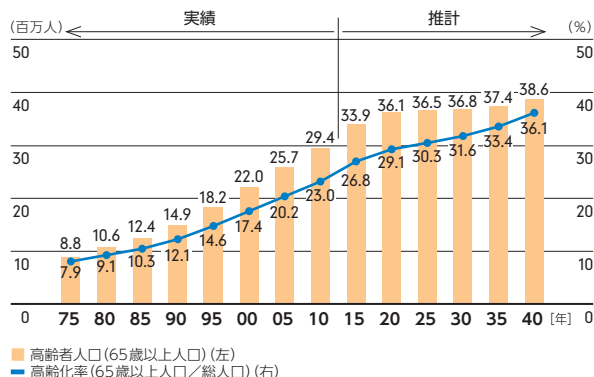
シリーズ	ホーム及び住宅数 (2015年3月末)	入居費	
		入居金 (万円)	月額利用料 (万円)
アリア	21	2,000～3,000	28～
くらら	41	—	33～
グラニー&グランダ	112	800～1,800	18～
まどか	52	—	23～
ボンセジュール	38	500～800	17～
こことち	11	100～300	15～
リレ	1	—	17～
合計	276		

2. 市場の動向

65歳以上の高齢者が全人口に占める割合*1は、2014年時点で対前年比0.9ポイント増加の26.0%と高齢化が急速に進行しています。この傾向は続き、2025年には高齢化率が約30%を超える見込みです。

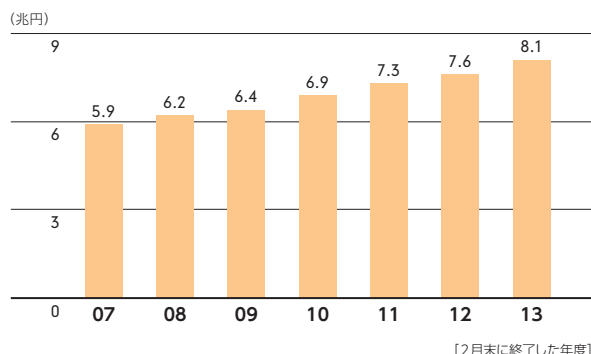
また、高齢化の進行に伴い、介護を必要とする方も増加を続けており、高齢者の介護問題を解決するために、2000年に社会保険方式を採用した介護保険制度が施行されました。以降、国内の介護市場*2は急速に拡大しており、2012年度の介護給付費は、対前年度比6.5%増加

高齢者人口／高齢化率の見通し



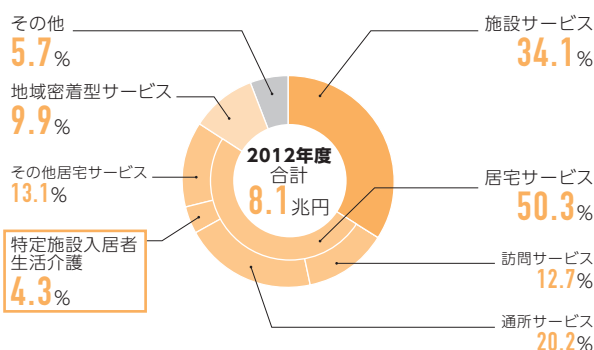
出所：2010年までは総務省統計局「人口推計」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（2012年1月推計）」

介護給付費



出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

介護給付費の内訳



出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

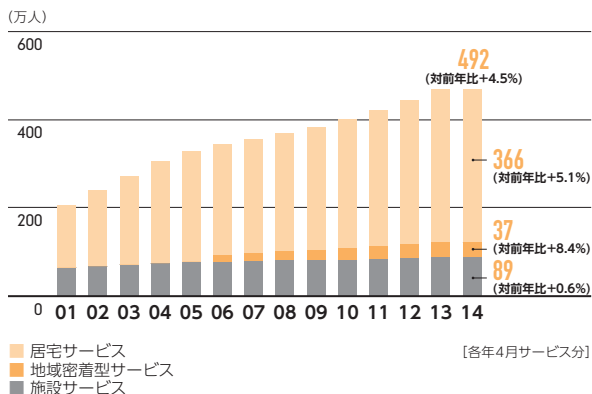
して8.1兆円、2014年4月時点の介護保険サービス受給者数は、対前年比21万人、4.5%増加の492万人となりました。

*1 出所：総務省統計局「人口推計（2014年10月1日現在）」

*2 出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

事業別概況

介護保険サービス受給者数の推移



出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

3. 2015年3月期の業績概況

シニア・介護事業領域の連結売上高は、872億7千1百万円と、対前期比9.6%の増収となりました。増収の主な要因は、高齢者向けホーム及び住宅数を前期比23カ所拡大し、入居者数が順調に増加したことです。営業利益は、増収に伴う増益などがあったものの、新規事業の立ち上げ費用の発生などにより、56億1千万円と、対前期比4.4%の減益となりました。

なお、2014年4月にベネッセパレットが在宅高齢者向け配食サービスを開始しました。2014年6月には、ベネッセシニアサポートを設立し、「ベネッセの介護相談室」を開始しています。また、2014年8月に、サービス付き高齢者向け住宅「リレ府中白糸台」を開設しました。

FAQ (よくあるご質問)

*文中のベネッセはベネッセグループのことを表します。

Q1.

ベネッセの運営するホームは
自社で保有しているものですか？

A1.

ほとんどのホームはリース物件です。2015年3月末時点で、自社で土地及び建物を保有するホームは13あり、全276ホームのうちの5%です。

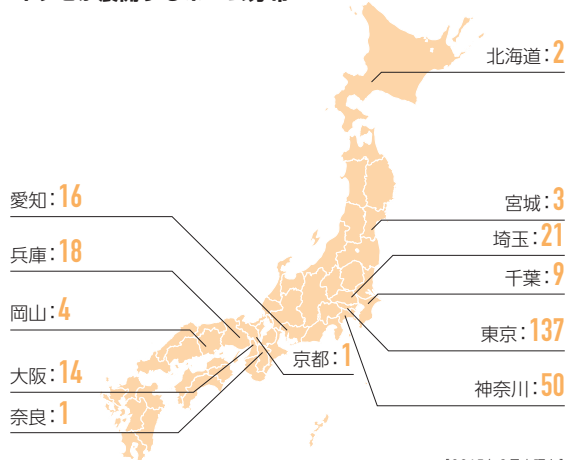
Q2.

ベネッセのホームは
国内のどの地域で
展開されているのですか？

A2.

首都圏を中心に需要の高い地域でホームを展開しています。2015年3月末時点で、首都圏のホーム数は217あり、全体の79%を占めています。そのほかに関西や東海地区などの大都市でも展開しています。

ベネッセが展開するホーム分布



Q3.

保育園や学童の運営は
行っていますか？

A3.

1994年に保育事業を開始し、最初の保育園を開設して以降、順次園の数を増やしてきました。また、2014年には学童事業を開始しました。2015年4月時点で保育園40カ所、学童3カ所を運営しています。

語学・グローバル人材教育事業領域

1. 事業概要

語学・グローバル人材教育事業領域は、ベネッセグループ全体の売上高の16.1%を占めるセグメントです。米国子会社のベルリッツ コーポレーションは、世界70以上の国と地域に497のランゲージセンターを有する世界最大級の語学・グローバル人材育成企業です。また、サイマル・インターナショナルでは、サミット、政府官公庁、財界、企業などの主要な国際会議における通訳、翻訳サービスなどを提供しています。

ベルリッツ 地域別拠点数

地域	ベルリッツ	ELS	合計
アメリカズ	139	63	202
ヨーロッパ	200	6	206
アジア	81	8	89
合計	420	77	497

*フランチャイズを含みます。

〔2014年12月末現在〕

2. 市場の動向

2013年の世界の語学学習市場*1は563億米ドルと対2011年比3.3%減少しました。インターネットなどの技術を活用した低価格の商品・サービスの利用が進んでいることを背景に総額は徐々に減少しています。

一方、世界の留学生市場*2は、2011年に304万人であった留学生数が2024年には385万人と、中国、インド、及びその他新興国からの留学生の増加を背景に年率1.8%増での成長が見込まれています。

*1 出所: Ambient Insight 「The 2013–2018 Worldwide Digital English Language Learning Market」

*2 出所: British Council 「The Future of the World's Mobile Students to 2024」

3. 2015年3月期の業績概況

語学・グローバル人材教育事業領域の連結売上高は、745億7千万円と、対前期比5.3%の増収となりました。増収の主な要因は、円安による為替換算時のプラス影響です。営業利益は、事業構造の改善による人件費の減少などにより、26億9千9百万円と、対前期比45.9%の増益となりました。

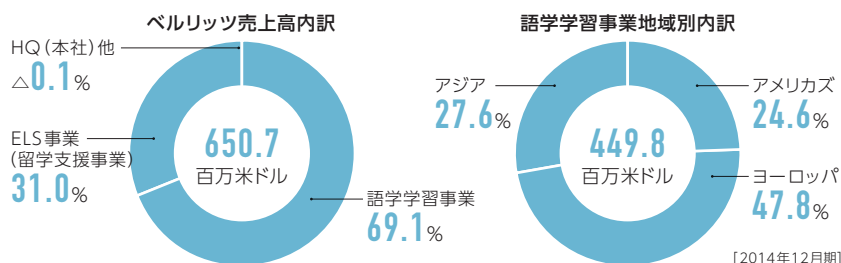
FAQ (よくあるご質問)

Q1.

ベルリッツの売上高の内訳は？

A1.

売上高の内訳は以下のとおりです。



Q2.

地域別のレッスン数は？

A2.

ベルリッツ直営拠点のレッスン数の地域別構成は以下のとおりです。

地域	2013年12月期		増減率
	2013年12月期	2014年12月期	
アメリカズ	1,921	1,803	△6.1%
ヨーロッパ	3,093	3,006	△2.8%
アジア	1,723	1,685	△2.2%
合計	6,737	6,496	△3.6%

発行済株式総数:

102,453,453株

上場日:

1995年10月26日

上場証券取引所(普通株式):

東京証券取引所 市場第一部

証券コード:

9783

ISINコード:

JP3835620000

単元株式数:

100株

会計監査人:

有限責任監査法人トーマツ

株主名簿管理人:

三菱UFJ信託銀行株式会社

株主数:

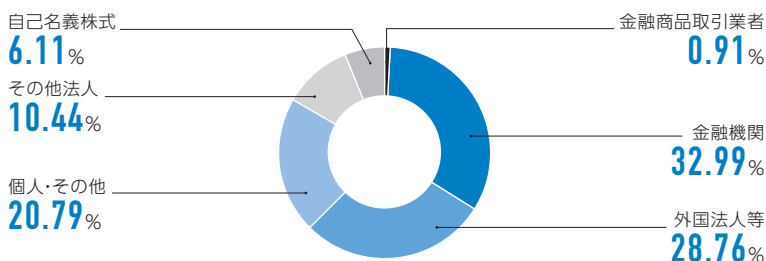
40,835名

大株主(上位10名):

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)	16,619	17.27
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	9,830	10.22
(公財) 福武財団	5,008	5.20
(株) 中国銀行	2,787	2.89
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,741	2.85
福武純子	2,155	2.24
(株) 南方ホールディングス	1,836	1.90
福武信子	1,769	1.83
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 中国銀行口	1,600	1.66
福武美津子	1,575	1.63

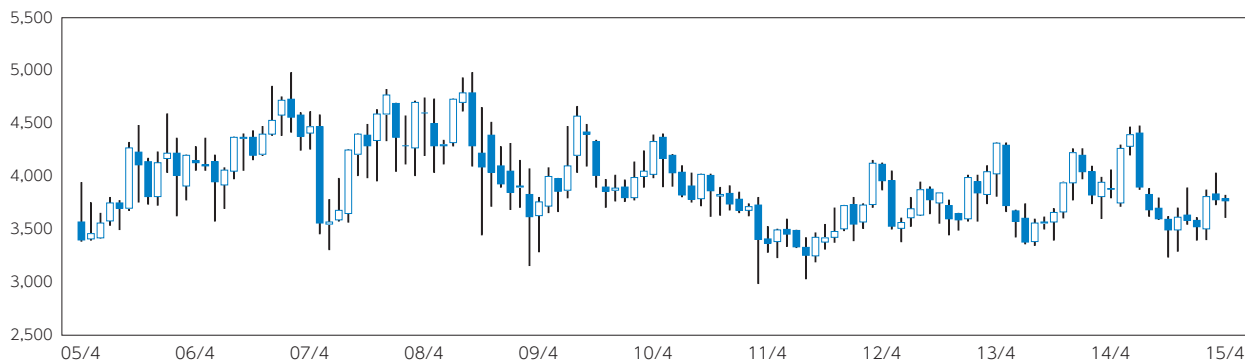
(注) 1. 日本マスタートラスト信託銀行(株)の持株数には、福武英明氏が代表を務める資産管理及び投資活動目的の法人であるイーエフユー インベストメント リミテッドが信託財産として拠出している当社株式13,618千株(持株比率14.15%)を含み、委託された信託財産の議決権行使に関する指図者は、イーエフユー インベストメント リミテッドです。イーエフユー インベストメント リミテッドはこのほかに、1,049千株(持株比率1.09%)を直接保有しています。
2. 当社は自己株式6,263千株を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

所有者別株式分布状況:



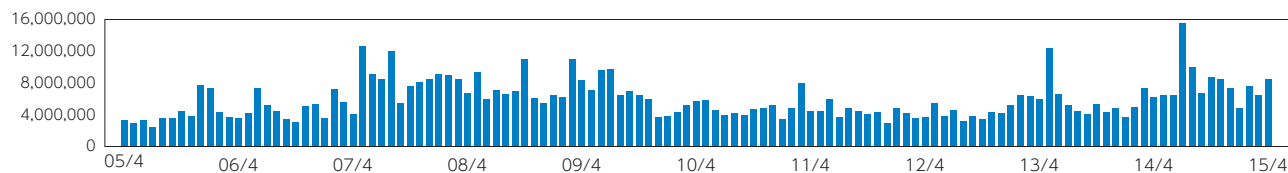
株価推移:

(円)



出来高:

(株)



* 2013年7月16日までは、大阪証券取引所における株価、出来高。2013年7月16日付で東京証券取引所と大阪証券取引所が統合したことに伴い、同日以降は、東京証券取引所における株価、出来高。

会社情報

会社概要：

(2015年3月31日現在)

社名(商号)

株式会社ベネッセホールディングス
(英文社名) Benesse Holdings, Inc.

設立

1955年1月28日

本社所在地

〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17
TEL:086-225-1165(代表)

代表者

代表取締役会長兼社長 原田 泳幸
(2015年6月27日現在)

従業員数

連結20,145人

資本金

13,600百万円

決算日：

3月31日

役員一覧：

(2015年6月27日現在)

取締役

代表取締役会長兼社長 原田 泳幸

代表取締役副社長 福原 賢一

常務取締役 小林 仁

取締役^{*1*}3 岩瀬 大輔

取締役^{*1*}3 岩田 眞二郎

取締役^{*1*}3 辻村 清行

取締役^{*1*} 福武 英明

取締役^{*1*}3 安田 隆二

監査役

常勤監査役 松本 芳範

常勤監査役 桜木 君枝

監査役^{*2*}3 和田 朝治

監査役^{*2*}3 出雲 栄一

^{*1} 社外取締役

^{*2} 社外監査役

^{*3} 独立役員

連結子会社一覧：

(2015年3月31日現在)

名称	資本金又は出資金 (百万円)	議決権の 所有割合(%)	主な事業内容
(株)ベネッセコーポレーション	3,000	100.0	校外学習事業、学校向け教育事業、出版事業、通信販売事業
(株)アップ	1,667	100.0	進学指導、科学実験教室、英会話指導などの教室運営
(株)東京個別指導学院	642	61.9	個別指導教育を中心とした学習塾事業
(株)進研アド	65	100.0	高等教育機関専門の広告事業
(株)ミネルヴァインテリジェンス	49	100.0	こども英会話教室の運営
(株)プランディット	40	100.0	学習教材の企画、編集
(株)ベネッセ・ベースコム	20	100.0	学習教材、ソフトウェアの製作、販売業務サポート、発送管理代行
(株)ラーズ	10	100.0	学習教材の製作、販売
(株)お茶の水ゼミナール	10	100.0 ^{*1}	高校生向け予備校事業
(株)ベネッセ音楽出版	10	100.0	著作権管理
(株)東京教育研	10	100.0	難関大学受験指導専門の学習塾事業
BENESSE GCA PTY LTD	1,250千豪ドル	100.0	オーストラリアへの留学支援事業
倍楽生商貿(中国)有限公司	125,000千人民币元	100.0	幼児向け通信教育事業
(株)ベネッセスタイルケア	100	100.0	高齢者介護サービス事業、保育事業
(株)ベネッセシニアサポート	100	100.0 ^{*2}	介護相談サービス事業
(株)ベネッセパレット	100	80.0 ^{*3}	高齢者向け配食サービス事業
(株)ベネッセMCM	80	100.0 ^{*2}	看護師及び介護職の人材紹介派遣業
Berlitz Corporation	1,005千米ドル	100.0	語学教育事業、グローバル人材教育事業、留学支援事業
(株)岡山ランゲージセンター	50	100.0	語学教育事業
(株)サイマル・インターナショナル	40	100.0	通訳、翻訳、語学教育事業
(株)TMJ	300	60.0	テレマーケティング事業
(株)ベネッセビジネスメイト	50	100.0 ^{*4}	総務経理業務代行、アウトソーシング事業
(株)直島文化村	20	100.0	ホテル事業
(株)ベネッセ・インシュアランス・サービス	20	94.0 ^{*5}	保険代理業
Benesse Hong Kong Co., Ltd.	3,600千香港ドル	100.0	教具、玩具生産、仕入、貿易業務

(注) その他15社の連結子会社があります。

^{*1} 子会社を通しての50.0%の間接所有を含みます。

^{*2} 子会社を通しての間接所有です。

^{*3} 子会社を通しての80.0%の間接所有です。

^{*4} 子会社を通しての4.0%の間接所有を含みます。

^{*5} 子会社及び関連会社を通しての64.0%の間接所有を含みます。



株式会社ベネッセホールディングス

広報・IR部

〒163-0416

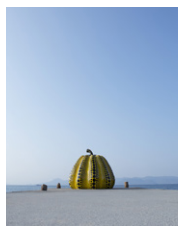
東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビルディング

TEL: 03-5320-3505

E-mail: tokyoir@mail.benesse.co.jp

URL: <http://www.benesse-hd.co.jp/ir/>



ON THE COVER

草間彌生「南瓜」

「ベネッセアートサイト直島」は、瀬戸内海の直島、豊島、犬島を舞台に、(株)ベネッセホールディングス、(公財)福武財団が展開しているアート活動の総称です。日本の原風景ともいえる瀬戸内の自然や、地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出していく活動を行っています。



ベネッセアートサイト直島

<http://www.benesse-artsite.jp/>

免責事項

本Data Bookは投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものです。当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に誤りがあった場合、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。